COM de KEY



操作説明書

(V1. 20)

第8版

2014.09.01

株式会社アイテックス

目 次

1.	インスI	≻ —,	r	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2.	起動&>	<u></u>	1-			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
3.	モニタ君	長示	•	•	•••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
4.	設定画面	5						•	-	-	•	•	•			•	•	•	-	-	•	•		•	•				-	4
	4 — 1.	通信	言設	定回	画面	ī	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
	4 – 2.	受信	言 デ·		タフ	'オ	·	マ	ッ	ト	設	定	画	面		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
	4 — 3.	+-	一転	送	フォ		マ	ッ	۲	設	定	画	面		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
	4 – 4.	バー			ド設	定	画	面		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	1
	4 — 5.	動作	乍設:	定回	画面	ī	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2
	4 — 6.	ファ	ァイ	ル	設定	画	面		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	3
5.	高度なこ	ご利用	用方:	法					-	-	•		•			•	•	•	-	-	•	•		•	•				1	4
	5 — 1.	上伯	立側:	から	Бσ) –	ン	۲		_	ル		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	4
	5 — 2.	2=	ŧ—	を約	組み	合	わ	せ	τ	送	信		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	4
6.	こんなど	こきに	t?					•	•	•	•	•						•	•	•	•	•		•	•				1	5

1. インストール

COMdeKEYのCDをインストールするPCに挿入します。セットアッププログラムが自動起動します。 ※もし自動起動しない場合は、CD内の「SETUP. EXE」を起動してください。





2. 起動&メニュー

スタートメニューより「COMdeKEY」を起動します。タスクトレイに接続状態のアイコンが表示され ます。アイコンをダブルクリックすると、ポップアップメニューが開き設定などを行うことができます。



接続/切断	: コムポートとの接続切断を行います。
設定	: コムポートやソフトの動作設定を行います。
モニタ表示	:通信状況やバーコード内容が確認できます。
ヘルプ	: バージョン情報などです。
終了	:COMdeKEYを終了します。
キャンセル	: ポップアップメニューを閉じます。

3. モニタ表示

ポップアップメニューより「モニタ表示」を起動します。RS232Cとの通信状況画面が表示されます。 テキスト表示、ヘキサ表示、バーコード情報表示のボタンをクリックすることにより、それぞれの表示 画面に切り替わります。表示リセットボタンで通信履歴の表示をクリアします。



テキスト表示画面です。受信したデータが 文字列で表示されます。改行コードなど は、<CR>のようにASCIIコード表 に基づき置き換えられて表示されます。

モニタま	示																												
7	キス	. ト	表;	Ŧ		(,	~ =	トサ	表	示			J	Ϋ́ –		-	ド帽	報	表;	π		表	示	νt	zψ	۲	閉じ
64 34 3 64 34 3 64 34 3 62 42 4 64 34 3 65 31 3 64 30 3 39 39 3	9 34 9 30 0 31 1 52 9 31 9 31 2 33 1 31 9 39	30 38 32 43 34 34 39	30 33 4F 33 35 31	33 32 34 34 36 31 30	39 35 45 37 32 31	37 30 20 36 38 38 32	0D 31 37 52 37 39 34 33	31 38 45 38 30 35 34	32 39 41 39 0D 36 35	31 30 44 30 37 36	38 31 45 34 38 37	0D 0D 52 0D 39 38	0D 30 39	31 30	31 31	37 32	30 33	30 34	30 35	39 36	30 37	38	33 39	30 30	39 0D	39	39	< N	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
01 02 0	3 04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		

へキサ表示画面です。受信したデータがへ キサコードで表示されます。

モニタ表示				
テキスト表示	ヘキサ表示	バーコード情報表示	表示リセット	閉じる
【01 : ゲローパル・ドレードア行ん 【17 : 年月日 (将証規期限日 30 : 鉄量 【10 : パッチノロットナン	ナンパー 14912345677 000908(00 99393393 ソデー 1234567890	901 /09/08) 234567890	K	

バーコード情報表示画面です。EAN12 8などのバーコード内の情報が表示されま す。

4. 設定画面

ポップアップメニューより「設定」を起動します。設定画面が表示されます。通信設定やデータ編集などC OMdeKEYに関する設定は、こちらから行います。

🙂 設定	
 ● 通信設定 ● 受信データフォーマット ● テキ転送フォーマット ● パーコード機能 ● パーコード機能 ● 動作設定 ● ファイル 	設定& 接続 OK キャンセル 規定値

設定画面の初期表示です。

設定したい項目をクリックすると、各設定画面が表示されます。 |+|をクリックすると、各設定の詳細設定項目が表示されます。

設定&接続ボタン : 設定内容を反映させ、接続を開始します。 OKボタン : 設定内容を反映させ設定終了します。 キャンセルボタン : 設定内容を反映させずに設定終了します。 規定値ボタン : 全ての設定をデフォルトにします。(反映はさせません)

4-1. 通信設定画面

😃 設定		×
設定 ● 受信データフォーマット ● キーモ賊送フォーマット ● バーコード機能 ● がに設定 - ファイル	COMボート COM1 ▼ ▼ 接続可能なボートを自動検索 ボーレイト 9600 bps ▼ パリティ なし ▼ データ長 8 ▼ ストップビット 1 ▼ ハンドシェイク なし ▼	設定& 接続 OK キャンセル 規定値

シリアル機器との通信設定です。

:データ受信する機器を接続するポートを指定してください。
: COM16から自動的に接続可能なポートを検索し接続します。
※ポート設定は、反映されませんのでご注意ください。
: 通信速度の設定です。
: パリティの設定です。(なし、偶数、奇数)
:データ長の設定です。(4~8)
:ストップビットの設定です。(1、1.5、2)
: 非同期通信を行う際のデータ送受信のやり取りです。
$(X \circ n / X \circ f f, RTS / CTS)$

※ 通信機器と必ず一致させてください。

🙂 設定		×
設定 通信計ラブル対策 シリアル視器制御 受信データフォーマット ● キー転送フォーマット ● バーコード機能 動作設定 ファイル	シリアルバッファサイズ 5120 Byte 受信データ確定待ち時間 150 msec	設定& 接続 OK キャンセル 規定値

通信トラブル対策の設定です。

データが途切れる。データの扱いにズレが生じている時など、設定変更します。

シリアルバッファサイズ	: 大量のデータが機器から送信される場合、大きい数値
受信データ確定待ち時間	を設定してくたさい。 :データが途切れて送信される場合、こちらの数値を大
	さくしてくたさい。逆にテーダ単位が連なってしまう 場合、こちらの数値を少なくしてください。

😃 設定		×
設定 	送信要求パケット <nul> 送信要求出力問題</nul>	設定&
	这话安水击力间隔 30 sec	キャンセル 規定値
	受信応合ハケット	
	3000 msec	

シリアル機器を制御するためのプロトコル設定です。 機器にデータ送信要求や受信応答が必要な時に設定します。

送信要求パケット:データ送信を催促するパケットを送信します。(NUL は送信しません)
 送信要求出力時間:送信要求パケットをポーリングする間隔です。
 受信応答パケット:データ受信した事を知らせるパケットを送信します。(NUL は送信しません)
 受信後の応答パケットウエイト:データ受信してから、受信応答パケットを送信するまでの待ち時間です。

4-2. 受信データフォーマット設定画面

🙂 設定			
設定 由通信設定 受信データフォーマット	「 受信データ内容	を監視する	設定& 接続
由−−−キー転送フォーマット 由−−−バーコード機能	プリフィックス	特殊プリフィックス	ок
シリトロストレー ファイル	な し 💌	<mark>∕& ∪ ∧</mark> Olh: <soh> → O2h: <stx> O3h: <etx> O4h: <eot> ♥</eot></etx></stx></soh>	<u>キャンセル</u> 規定値
	サフィックス	特殊サフィックス	
	なし 💌		
	※ブリフィックス・サコ	フィックスは、除去されます	

受信データフォーマットの設定です。

受信データを監視し、フォーマット以外のデータは、読み捨てます。 また、設定されているプリフィックス・サフィックス部分のデータを取り除きます。

受信データ内容を監視する:受信データフォーマットを設定する場合チェックをつけてください。 プリフィックス:データの先頭に付加されている文字です。 サフィックス:データの最後に付加されている文字です。 4-3.キー転送フォーマット設定画面

<mark>巴</mark> 設定				
設定 ・ 通信設定 受信データフォーマット ・ 「・ 転送フォーマット ・ バーコード機能 ・ 動作設定 ・ ファイル	 マ キー転送する プリフィックスデータ サフィックスデータ 	KeyBoard	設定& 接続 OK キャンセル 規定値	

キー転送するデータフォーマットの設定です。

キー転送を止めることができます。

データの先頭や最後に特殊キー入力・文字列など付加してキー転送することができます。

- キー転送する :キー転送する/しないの設定です。
- プリフィックス : データの先頭に特殊キー・文字列を付加します。 サフィックス : データの最後に特殊キー・文字列を付加します。

e ybo ar d					
Esc F1 F2 F3 F4 F5 F4	F7 F8 F8	F10 F11 F12	Print	ScrLk	Break
Tab			Ins	Home	PUp
		Enter	Del	End	PDn
LapsLock					NumLoc
Shift 左		Shift 右	J	↑	
Ctrl 左 Alt左 Space	Alt右	Ctrl 右	←	Ļ	→

特殊キーの設定です。

挿入したいキーをクリックして選択してください。



也 設定		
設定 ・ 通信設定 ・ 受信データフォーマット ・ データ編集 ・ データ編集 ・ データ編集 ・ データ編集 ・ データ編集 ・ データイト ・ データ ・ パー ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ データ ・ パー ・ データ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 □ 実キーボード入力を発生させる □ コマンドブロンブト(DOS)画面に転送 □ PCOMM画面に転送① □ PCOMM画面に転送② Ctrl+V □ 4) をデータとして扱う ENTER・TABキーの前後にウェイト □ msec 1 キー毎の押下時間 □ msec 	設定& 接続 OK キャンセル 規定値

キー入力トラブル対策の設定です。 転送したい相手先(ソフト)に思い通りに転送ができない時に設定してください。

実キーボード入力を発生させる	: キーボードイベントを強制的に発生させます。メモ帳などで は受信でき、ソフト(エミュレーションソフトなど)で、キ ー入力がされない場合、こちらを設定してください。
	※実キーホートイメージです。日本語は使用できません!
コマンドプロンプト画面に転送	:コマンドプロンプトの画面にキー転送します。
	※コマンドプロンプト以外では、使用できなくなります!
PCOMM1 画面に転送	:PCOMMの画面に転送します。
	※PCOMM以外では、使用できなくなります!
PCOMM2画面に転送	:PCOMMの画面に転送します。
	※PCOMM側で Ctrl+V キーでデータ貼り付けが行えるよ
	う設定してくたさい。
ENTER・TAB キーの前後にウエイト	:相手側ソフトに ENTER・TAB キーなどで更新時間が必要な場
	合、待ち時間を変更してください。
1 キー毎の押下時間	:相手側ソフトにキー入力チェックなどが入っており、異常に キー転送時間が掛かったり、データが欠落などする場合変更 してください。

4-4. バーコード設定画面

設定 ● 通信設定 受信データフォーマット ● キー転送ファーマット ■ <u>パーヨー『限課</u> ■ 書籍関連 ■ 動作設定 ファイル	設定 & 接続 OK キャンセル 規定値



バーコード機能の設定です。

使用する機能にチェックをつけてください。

アドオンコードの含まれない	:「491***」のようなアドオンコードデータで、13 桁のみ
データは、扱わない	受信されなかった場合、キー転送しません。
日本図書コード(ISBN)を	: 2 つのデータを「ISBN4*** C*** ¥***E」のように結合及び
結合する	並び替えをします。
書籍 JAN2 段を結合する	: 2 つのデータを「9784***19***」のように結合及び並び替えをします。
次データ待ち時間	: 書籍 2 段、ISBN で次のデータが受信されるまでの待ち時間です。
区切り文字挿入	: 書籍 2 段で 1 段目と 2 段目の間にカンマなどの文字を挿入できます。
書籍 JAN2 段を ISBN に変換	:書籍2段のデータを「ISBN4*** C*** ¥***E」のように変換します。
書籍 JAN1 段目のみ ISBN 番号に変換	:書籍2段の1段目のデータを「ISBN4***」のように変換します。
書籍 JAN2 段目のみ分類コード と価格コードに変換	:書籍2段の2段目のデータを「C*** ¥***E」のように変換します。

4-5.動作設定画面

😃 設定		
設定 ■ 通信設定 受信データフォーマット ■ キー転送フォーマット ■ パーコード機能 ■ パーコード機能 - ブァイル	「「ボッブアッブメニューロック (SHIFTキーが押下されていないと起動させない)	設定& 技統 OK キャンセル 規定値

COMd e K E Y の動作設定です。

ポップアップメニューロック : SHIFT キーを押しながらアイコンをダブルクリックしないとメ ニューが起動しないようになります。設定をユーザー側で変 更されないようにする時などに使用します。

4-6.ファイル設定画面

🙂 設定		
設定 ・ 通信設定 受信データフォーマット ・ ティー転送フォーマット ・ パーコード機能 ・ 動作設定 ・ ファイル	 □ 受信データファイルを作成する □ 出力データファイルを作成する 出力ファイル名: 参照 	設定& 接続 OK キャンセル 規定値

ファイルの設定です。

受信データファイルを作成する:受信データを作成します。ログが必要な時などに使用します。
 ※サイズ無制限ですので、作成には十分注意してください。
 出力データファイルを作成する:転送用にデータ編集されたデータをファイルとして作成します。出力ファイル名を設定してください。
 出力ファイル名
 :出力データファイルのファイル名です。

5. 高度なご利用方法

5-1. 上位側からのコントロール

上位側からCOMdeKEYを制御する場合、特定ファイル名をCOMdeKEYのプログラムがインストールされているフォルダにコピーもしくは作成することで制御できます。

【プログラム終了】

FINISH. TXT

プログラムを終了します。再度起動する場合は、起動時に自動的に終了指示ファイルを削除 しますので、プログラムを実行するだけで結構です。

- 【キーボード転送禁止指示】
 - DONTKEY. TXT

キーボードの転送を一時的に停止します。転送禁止を解除する場合は、ファイルを削除して ください。

VBでのサンプルコード

COMdeKEYを「C:¥Program Files¥COM de KEY¥」にインストールした場合です。 '**** 起動例 ****

Private Sub Form_Load()

- Dim IDProcess As Long 'プログラム起動パラメータ
 - IDProcess = Shell("C:¥Program Files¥COM de KEY¥ITCW.exe", 1)

End Sub

```
'**** 終了例 ****
Private Sub Form_Unload(Cancel As Integer)
'終了ファイル作成
Open "C:¥Program Files¥COM de KEY¥FINISH.TXT" For Append As #1
Print #1, "";
Close #1
End Sub
```

5-2.2キーを組み合わせて送信

COMdeKEYは、転送データに{C+A}のように設定して頂くとCtrl+Aの2キーを押したイメ ージのキー入力イベントを発生できます。先頭や末尾に加える場合は、『キー転送フォーマット』にあり ます『プリフィックスデータ』、『サフィックスデータ』のテキストボックスに直接入力してください。 『文字列の置き換え』、や『固定サイズデータ編集』、などの編集機能でも設定可能です。『文字列の置き 換え』、や『固定サイズデータ編集』の場合は、『キー転送フォーマット』→『キー入力トラブル対策』 にあります『{} をデータとして扱う』のチェックを外してください。

Shift+-、Ctrl+-、Alt+-のいずれかと数字、アルファベットの2キーを同時押した イメージでキー入力できます。

Shiftキー+? : {S+?} Ctrlキー+? : {C+?} Altキー+? : {A+?} ※?には、0~9、A~Zを半角文字で設定してください。

こんなときは?

<トラブル>

■コムポート接続に失敗する。

下記の順序で確認を行ってください。

- (1) 自動接続しているコムポートが接続したい機器と一致しているか確認してください。一致してい ない場合は、「接続可能なポートを自動検索」のチェックを外してください。
- (2) コムポートを使用しているアプリケーションが他にないか確認してください。
- (3) デバイスマネージャで、設定したコムポート番号が「このデバイスは正常に動作しています。」 となっているか確認してください。
- (4) 通信設定が接続機器と一致しているか確認してください。
- (5)「ストップビット 1.5」などハード側で使用不可能なものがないか確認してください。
- (6) ボーレイトを遅くして使用してください。機器によってご利用出来ない速度があります。

■データが文字化けする。

モニタ表示で受信データを確認してください。受信データと読み込んだデータが一致していなければ、 通信設定が接続機器と一致していません。通信設定を確認してください。

ー致している時は、設定の「キー転送フォーマット/キー入力トラブル対策」で、1キー毎の押下時 間を増やしてください。

■キー入力でデータの順番入れ替わっている。

設定の「キー転送フォーマット/キー入力トラブル対策」で、1キー毎の押下時間を増やしてくださ い。

■キー入力先のアプリケーション動作がおかしい。

アプリケーションによっては、"CR+LF"などコードで送られると違う意味で割り当てられているものがあります。

特殊コードを削除する(置き換えで空文字列にして削除する/バイト位置で削除する)、受信データフ オーマットでプリフィックス・サフィックスを抜き出すなどして、特殊コードが送られないようにし てください。 <設定・利用方法>

■COMdeKEYの起動、終了をコントロールしたい。

「5. 高度なご利用方法」の「5-1. 上位側からのコントロール」を参照してください。

■エクセルなどでデータを同じ列上に入れていきたい。(データの後に TAB キー付加)

- (1) 設定の「キー転送フォーマット/サフィックスデータ」で KeyBoard ボタンを押してください。 「特殊キー設定画面」が開きます。
- (2) TAB ボタンを押してください。サフィックスデータに" {TAB} "と表示されます。
- (3) **OK** ボタンを押し、設定を保存してください。

■"a88888888a"の スタート/ストップコード a を削除したい。("888888888")

- (1) 設定の「キー転送フォーマット/文字・文字列を置き換える」にチェックをつけてください。
- (2) 編集ボタンを押してください。設定画面が開きます。
- (3) 検索文字列でa と入力してください。
- (4) 同じ列上の右側に何も入力しないでください。""(空文字列)となります。
- (5) 0K ボタンを押し、設定を保存してください。

■ "49012347"の国コードを削除したい。(1 バイト目から 2 バイト削除、"012347")

- (1) 設定の「キー転送フォーマット/固定サイズデータ編集」にチェックをつけてください。
- (2) 編集ボタンを押してください。設定画面が開きます。
- (3) 開始位置に1、削除に2を設定してください。
- (4) **OK** ボタンを押し、設定を保存してください。